

「福島県の美術教育の取り組み」

福島県中学校美術専門部総務 福島市立西信中学校 久保恵美子

今年の夏は、別格の暑さにもかかわらず、遠くより、貴重な時間を割いて、研究公開においでいただきありがとうございます。

さて、我が福島県中学校教育研究協議会美術部専門部会では、年間、多様な行事を開催しています。県内16支部の支部毎の総会、主題研修会、主題研修報告会、夏の第1次研究会、実技講習会、作品研究会、冬の第2次研究会、支部長会等があります。支部によっては、夏季研修会のスケッチ旅行など支部毎の特色溢れる行事を組んでいます。

顕著なのは、夏の県美術ゼミナールや毎年行われる県大会での公開授業や研究協議会、そして冬の作品研究会及び造形作品審査会、福島県独自のワークブックの編集です。

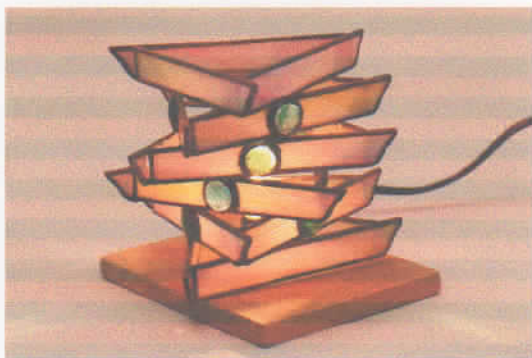
夏に行われる県美術ゼミナールは、例年、宿泊を伴い、夜が更けるまで美術談義、生徒の作品を前にして生徒の様子や指導の研究に話の花が咲きます。美術部ならではの専門的で生徒指導の微に入り細に細入りの討論は楽しい思い出がいっぱいあります。また、近年、美術館との連携で便宜を図っていただき、鑑賞やギャラリートーク、写生会など多彩な活動もしています。また、講師の先生をお招きしての講演や実技研修などを開催し、好評を得ております。

また県大会では、持ち回りを原則とし、およそ2年計画で発表に向け準備をしながら、県下の先生方に公開授業を行います。毎年の研究主題や副主題の研究協議を実施して成果と課題をまとめ、16支部、それぞれの担当の学校での実践に少しでも参考にさせていただければと願っています。私たちは、生徒あつての授業であり、生徒の変容あつての成果であると思います。

さらに、12月には16支部から寄せられた作品を前に作品研究会を行います。作品審査も行い、選ぶ行為もまた、私たちにとって真剣な作品や生徒との向き合いの機会であると考え、毎年あちこちに質問の輪が広がります。

そして今回の指導要領改訂に伴い、24年度発行を目指してのワークブックの編集を行っています。福島県内の作品や資料を多くすることにより地域性が感じられるものになりたいと考えております。また福島県の中学美術教育を一覧できるよう、確認またはそこから発展させるための中心的な位置づけにする身近な県内の生徒作品の制作（制作過程）が見られるよう工夫しています。時には先生方の新しい試みを載せる事により啓蒙を図ったり、福島県ゆかりの作家の作品を掲載したりする事で、地に足の着いた郷土色・郷土愛豊かな編集構成をしている所です。こうした取り組みから、卒業しても美術を愛好する生徒

の育成を図っていきたいと考えております。さらに、この活動のよさを社会にアピールし、生徒の美術的環境が発展深化できれば幸いです。



今回の第63回全国造形教育大会（第55回東北造形教育大会）では、「つくる喜び、みる感動！」一連携を大切にしたいこれからの造形教育を求めて一をテーマに人間の成長の流れの中でそれぞれの発達段階で子どもを支援していく造形教育美術教育の立場で連携していこうと考えています。

小中連携では、共通事項の確認や学習環境の整備や自分らしさを求めた主題の追求など、中高連携では、成長の上で欠く事のできない感動の体験の積み重ねができる美術教育の大切さの確認や情報を共有して外に向かって社会にアピールすることなど等、一人の人間の成長の繋がりを見届けていく使命を感じながら研究を進めていくつもりです。

今後も全国造形教育大会や東北造形教育大会の活動を通して、私たち教育指導者の研究・研修を深め、共に繋がり、スパイラル的に成長できるよう願ってやみません。

